

## 「仕事のセンス」がない人が増加 ～2学期始業式学校長の話～

(9月1日(金)始業式 学校長の話から抜粋)

夏休みに読んだ新聞で、「仕事のセンス」がない人が増加(読売新聞)という記事が目にとまりました。どういう内容かというと、「知識やスキルは高いのに、仕事をうまく進めるセンスがない人が職場にいますか?」というアンケートの質問に対して、「いる」と答えた人が6割あったというものでした。

では、『仕事のセンスがある人』とはどんな人か?という質問に対しては、「自分で判断して行動する力がある人」、「相手に明確に説明することができる人」という答えが上位だったそうです。そして、5年前と今年の新入社員を比較すると、「主体性」や「外向性」が低く、「行動力」のない社員が目立つという意見が書かれていました。

「主体性」や「外向性」が低いと指摘されていますが、「主体性」とは、自分の意志や判断によって行動できるということです。「外向性」とは、外の世界に対して関心を示す社会的、行動的な性格のことです。その反対は、引っ込み思案で、心の中に関心を向け、他人との関係を避けたがる内向性です。

「主体性」「外向性」という言葉で頭に浮かんだのが、本校の校訓の「自主」「互譲」「責任」です。「仕事のセンスがある人」に必要な「主体性」「外向性」「行動力」という要素が本校の校訓には含まれていると思いました。

この夏休み中に、バスケット・サークルの練習を見ていて、バスケットボールは「自主、互譲、責任」のわかりやすい例だと思いました。自分から進んでボールを持ってゴールをめざすのが「自主」、でも相手にさえぎられたら無理をせずに仲間にパスをするのが「互譲」、仲間に合図を出してパスをもらう。ボールを持った人はもちろん、ボールを持った仲間をサポートする人もゴールに向かって一緒に走り得点を狙う。これが「自主」「互譲」「責任」だと思いました。

充実した学校生活を送るために、そして「主体性」「外向性」「行動力」を身につけて「仕事のセンスがある人」になるために、次の4つのことを心がけてほしいと思います。

- (1) 夢中になれることを見つける
- (2) ちょっと難しいかなと思うことに挑戦する  
(成功の反対は失敗ではなく、何もしないこと、挑戦しないこと)
- (3) 一緒に挑戦する仲間を見つけ、一緒にがんばる  
(そのために声をかけあうこと、助け合うこと)
- (4) 継続する。3日坊主で終わらない(すぐに結果は出ないので続けること)

2学期にはたくさんの行事があります。充実した2学期にしていきましょう。

(校長 高橋信之)